

1 本園の教育目標

「太陽の子ども 竹の子ども」
 ・明るくのびのびとした子ども
 ・思いやりのある子ども
 ・元気にすくすくのびる子ども

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

①職員の資質向上について
 努力目標「みんなと“いっしょ”って楽しいな!~子どもと子どもをつなぐ仲間づくりの援助や環境構成を考える~
 ②特別支援教育の充実
 ③異年齢での関わりを通しての保育

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
職員の資質向上について	B	努力目標に向け、日々の保育や園内研修などにおいて、子供達がいろいろな友達とかかわって仲間づくりができるよう援助や環境を意識し、共通理解を図ったり、保育の振り返りを行ったりしてきたことで子供の成長に繋がった。
特別支援教育の充実	B	一人ひとりの子供の姿や育ちについて、課題や支援方法を明確にしながらか職員間で共通理解に努めた。また保護者の気持ちに寄り添いながら関係機関との連携も図ることができた。
異年齢での関わりを通しての保育	B	異年齢交流の計画を立案し、内容などを工夫しながら関わる機会をもつことができた。また、小学校交流の機会がもてるよう職員間で連携を図った。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	園内研修を計画的に実施し、他の教師の研究保育を見る機会を作ることで資質向上に繋がった。また、努力目標達成に向け、年間を通して触れ合い遊びや仲間づくり、グループや相談活動など意図的に保育に取り入れることで、友達との関わる姿が見られ心の成長や友達関係づくりに繋がった。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理体制の見直し	緊急時における対応の見直しや危機意識をもって取り組めるよう教師間で連携が図れるようにする。
教師の資質向上	教材研究や指導方法など活発な意見交流を行う。教師間で保育内容や子供理解の共有化を図る。
特別支援教育の充実を図る	一人ひとりに寄り添った支援が行えるよう教師間で情報共有を行い、共通理解を図りながら保育を進める。

◎3.4. の評価結果の表示方法

A十分達成されている B達成されている C取り組まれているが成果は十分でない D取組が不十分である